

# 令和4年度 社会福祉法人 三愛会 事業計画

## I 法人理念

社会福祉法人三愛会は、次の三項目を法人理念に掲げ、ご利用者の皆様に尊厳ある生活を送っていただくための環境づくりと質の高い介護サービスの提供を目指します。

### 理 念

■ 誠実 (Sincerity)

■ 奉仕 (Service)

■ 研鑽 (Study)

1. 私たち三愛会職員は、常に一人ひとりの人の幸せと地域社会の幸せのために奉仕するという福祉人としての本分に徹します。
2. 私たちは、他者と自分に常に誠実である人間を目指し、自らを研鑽し続けます。

### 運営方針

1. 高齢者が住み慣れた地域の中で、その人らしい暮らしの実現や継続ができるように支援させていただきます。
2. 地域福祉の拠点となるよう、また地域づくりの一員として参加させていただけるよう努めます。
3. 医療ニーズにも応えられる安心の福祉サービスを目指し、医療との連携、そして自らの研鑽に努めます。

## II 基本方針

令和3年度は、介護報酬改定が行われ、新型コロナウイルス感染拡大や大規模災害発生時に備えた取組み、発生時の業務継続に向けた体制づくりが義務付けられ、委員会によるBCP (Business Continuity Plan/事業継続計画) の策定に取り組んできました。

また、科学的に自立支援等の効果が裏付けられた介護サービスの方法論を確立、普及していくための取組みとして、科学的介護加算が新たに設けられ、介護分野における科学的手法による分析に基づいたエビデンス (介護の効果) の蓄積とその活用を推進するための新システムがスタートし、当法人においても加算取得に向けた取組みを行ってきました。

当法人の課題としては、「看護多機能ホームふじっこ」、「訪問看護ステーション天領ガーデン」の再構築と安定した収益の確保が急務となっています。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大きく減収 (昨年度比) となった「そうだ藤の森デイサービスセンター」、「元気デイきらら」の対策も講じていく必要があります。

こうした状況の中で、令和4年度においては、報酬改定の趣旨に沿った体制づくりを継続して行っていくとともに、利用者の人生観を尊重した介護サービスの在り方を再考し、「利用者満足」「家族の安心」「職員のやりがいを育む職場環境づくり」「地域から信頼される施設運営」をキーワードに、「経営基盤の強化」「人材育成」「サービス向上の取組み」「地域との関係づくり」の4項目を重点事項として、法人全体の運営管理の徹底、安全、安心のできる専門性の高いケアサービスの提供、地域の中の一員として信頼される法人運営に取り組んでいきます。

## □令和4年度重点事項

I 経営基盤の強化	
1. 法人業務管理体制の強化	
(1) コンプライアンスの徹底	①各事業所における管理の徹底 i 管理者による管理の徹底 ・介護保険制度関連法令に基づいた事業運営 ・必須研修の実施
2. 収入安定化の取組み	
(1) 質の高いサービス提供による集客力UP	①サービス内容の見直し i 通所介護サービス ・サービスプログラムの見直し ・機能訓練の充実 ii <u>看護小規模多機能型サービスの充実</u> ・ <u>医療ニーズに対する対応力の強化</u>
II 人材育成	
1. 専門性向上のための資格取得に向けた取組み	
(1) <u>喀痰吸引等認定行為業務従事者資格取得のための支援</u>	① <u>喀痰吸引に関する資格取得のための支援を計画的に行っていく</u> i 無資格者リストアップと取得のための支援 ・研修時間の確保(研修スケジュールの作成) ・研修費の支援
(2) 国家資格等取得のための支援	①介護福祉士資格取得のための支援 i 対象者のリストアップと取得のための支援 ・実務者研修の履修支援 ・受験対策講座の開催
(3) 認知症対応力向上に向けた取組み	①認知症介護基礎研修等の履修支援 i 認知症介護基礎研修等
2. 職員個々の目標管理の徹底	
(1) 個人目標の管理と指導	①個人目標に沿った研修(外部研修)の履修 i 外部研修への積極的参加 ・認知症ケアに関する研修 ・摂食・嚥下に関する研修 ・口腔ケアに関する研修 ii 外部研修履修者による伝達講習の実施
III サービス向上の取組み	
1. より良いサービス提供に向けた体制づくり	
(1) <u>業務改善の実践</u>	①職場環境の整備(5S活動の実践) i 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動の徹底と繰り返しにより組織の業務プロセスとして習慣化を図っていく ②業務の明確化と役割分担 i 役割分担やシフトを見直し、業務改善を図るとともに、職員の負担軽減とケアの質的向上を目指す ③テクノロジーの活用、及び <u>ノーリフトケアの推進</u> i 職員の身体的・心理的負担の大きい業務の軽減 ii 抱えない介護を推進し、身体的負担の軽減を図ることにより腰痛等を防止する
・専門性を高める ・仕事の価値を見出す ・仕事の負担と負担感を減らす ・適切な作業をより省力化する ・働くモチベーションの向上 ・チーム意識を高める ・仕事に向き合う姿勢の改善 ・利用者の存在を支える仕事であることを再認識する ・役に立っているという実感を高める	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>④効果的なOJT 実施のための仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>i 手順書を基づきケアの標準化を図る</li> <li>ii 手順書・マニュアルの見直し</li> </ul> </li> </ul>
2. 委員会活動の充実 (1) <u>各委員会の役割の明確化と機能強化</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①BCPの作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>i <u>感染対策委員会・災害対策委員会</u></li> </ul> </li> <li>②安全な安心できる介護サービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>i 安全管理委員会</li> <li>ii 身体拘束及び虐待防止委員会</li> <li>iii ノーリフト委員会</li> <li>iv 給食委員会・摂食委員会・入浴委員会 排泄委員会等</li> </ul> </li> </ul>
IV 地域との関係づくり	
1. 地域への情報発信の取組み (1) <u>地域への情報発信</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自治会との関係づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>i <u>定期的な訪問による関係づくり</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>イベントの共同開催</u></li> <li>・<u>防災訓練の企画、提案、実施</u></li> <li>・<u>被災時の避難場所としての施設活用</u></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
(2) 公開講座等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門性を生かした講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症介護講座</li> <li>・介護予防に関する講座</li> </ul> </li> </ul>
(3) 運営推進会議の内容充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域との関連性をもった議題設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>i 介護施設として地域との関わり <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例等の紹介</li> <li>・地域密着型サービスの意義等の紹介</li> <li>・災害対策に関する意見交換</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

### III 令和4年度事業所、部署ごとの取り組み

#### 1. 実施事業

##### そうだ藤の森拠点

事業所区分	備考
(1) 特別養護老人ホーム そうだ藤の森 (指定介護老人福祉施設)	入所定員 54名
(2) 特別養護老人ホーム そうだ藤の森 (指定短期入所生活介護事業)	利用定員 16名
(3) そうだ藤の森デイサービスセンター (指定通所介護事業)	利用定員 45名
(4) そうだ藤の森介護保険相談センター (指定居宅介護支援事業)	

##### 天領ガーデン拠点

事業所区分	備考
(1) デイサービスセンター ひなたや (指定認知症対応型通所介護事業)	利用定員 12名
(2) 元気デイ きらら (指定通所介護事業)	利用定員 35名
(3) ヘルパーステーション 天領ガーデン (指定訪問介護事業)	
(4) 訪問看護ステーション 天領ガーデン (指定訪問看護事業所)	
(5) 看護多機能ホーム ふじっこ (指定看護小規模多機能型居宅介護事業)	登録定員 29名 通い定員 18名 泊まり定員 7名
(6) 特別養護老人ホーム 天領ガーデン (指定地域密着型介護老人福祉施設)	入所定員 29名 (3ユニット)
(7) 特別養護老人ホーム 天領ガーデン (指定短期入所生活介護事業)	利用定員 10名 (1ユニット)
(1) 栄養部	
(2) 管理本部・事務部	

## 2. 各事業所の数値目標

事業所名	稼働率	収益目標数値 (単位: 千円)
特別養護老人ホームそうだ藤の森 入所	96%	234,000
短期	72%	50,000
そうだ藤の森デイサービスセンター	80%	96,000
そうだ藤の森介護保険相談センター	125件 (作成件数)	22,000
デイサービスセンターひなたや	55%	26,400
元気デイきらら	80%	76,800
ヘルパーステーション天領ガーデン	—	84,000
訪問看護ステーション天領ガーデン	—	6,000
看護多機能ホームふじっこ	23名 (登録者数)	84,000
特別養護老人ホーム天領ガーデン 入所	98%	156,400
短期	82%	40,200
合計		875,800

## 3. 事業計画の概要 (各事業所)

### (1) 特別養護老人ホーム そうだ藤の森 (介護老人福祉施設)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 専門性の向上を図り、人材育成に取り組む	
(1) 認知症の対応力向上	① 外部研修への参加 (年間10研修目標)
(2) 特定行為従事者資格取得	① 対象職員のリストアップと実行計画の策定
2 サービス向上を図り、満足度を高め	
(1) 業務内容の見直しによる業務改善	① 勤務体制に合わせたタイムテーブル作成 ② 1回/月の面談を実施し、意見等を業務改善に反映させる
(2) 職場環境の整備 (5S活動の周知)	① 整理整頓が業務内で行えるよう取り組む (業務に取り組む)
3 ノーリフトケアを推進し、安心・安全な移乗を行い、2次的な被害の減少を最小限にする。	① ノーリフトケアに関する研修会の実施 (1回/月) (ノーリフトケアについての意識向上) ② 委員会活動の充実を図る ③ 腰痛予防・打撲・表皮剥離の減少

## (2) そうだ藤の森デイサービスセンター(通所介護事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画(アクション)
<p>1 収益安定化の取り組み</p> <p>(1) 定期的なプログラム内容の検討・見直し</p> <p>(2) タブレット等を使用したサービス内容のこまめな状況報告の実施</p>	<p>(集客力アップに向けての取り組みとして)</p> <p>① 1回/月、事前ミーティング内にて検討や見直しの実施</p> <p>① サービス担当者会議や営業時に、タブレットを活用し利用時のこまめな状況報告を行うと同時にパンフレットの配布を行っていく</p>
<p>2 個別機能訓練の充実・見直し</p> <p>(1) 生活機能訓練の充実</p> <p>(2) タブレットを使用した訓練内容の状況報告</p>	<p>① 生活機能訓練・屋内外歩行訓練などを活かし、個人に合わせた訓練メニューの検討・実施</p> <p>② 他職員への訓練内容等の周知や知識・技術の習得のための講習の実施 (ミーティングにて)</p>
<p>3 人材育成</p> <p>(1) 「気づき」を含めた質の向上</p> <p>(2) 内部研修の充実と外部研修への積極的参加</p> <p>(3) S活動の定着</p>	<p>① ヒヤリハット用紙を改良し、より記入・把握しやすくする</p> <p>② 必要時、検討事案を抽出し事前ミーティングにて問題解決を行うなど、質の向上を目指す</p> <p>① 内部研修は、継続して担当持ち回りで実施していく</p> <p>① 5S活動を推進し、定着化を図る</p>

## (3) そうだ藤の森介護保険相談センター(居宅介護支援事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画(アクション)
<p>1 経営基盤の強化</p> <p>(1) 迅速な対応、法令順守を徹底し、担当件数の増加、安定した収入の維持へ努める</p>	<p>① 困難事例やターミナル対応等も含め、断らない姿勢で担当件数を増やす</p> <p>② 法改正や通知内容を把握、法令順守を徹底医療連携、加算取得のための取り組みを行っていく</p>
<p>2 人材育成</p> <p>(1) 利用者および家族の多種多様なニーズへ対応できるようスキルアップへ努める</p>	<p>① 自己研鑽のための外部研修への積極的参加、事業所内での伝達研修の実施</p> <p>② 自立支援型ケアプラン相談会への参加、見学の実施</p> <p>③ 他法人との研修会の開催</p>
<p>3 地域との関係づくり</p> <p>(1) 事業所の所属する圏域および利用者の生活する圏域との連携を図る</p>	<p>① 植田東圏域を中心に地域活動への参加</p> <p>② 各圏域の地域包括支援センターとの連携</p>

#### (4) デイサービスセンター ひなたや(認知症対応型通所介護事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 サービス向上の取り組み (1) 専門的な認知症ケアの取り組み 質の高いケアの提供	① 認知症進行予防の取り組み (学習療法) ② 短期記憶保持、改善の取り組み (回想法) ③ 個別ケアに基づいたケアプランの作成とサービスの提供
2 経営基盤の強化 (1) 収益安定化の取り組み 収益の状況を把握し、必要な対策を行う 選ばれるデイサービスを目指す	① 居宅介護事業所への PR 活動 ② ひなたやの強みの強化と、弱みの改善
3 人材育成 (1) 認知症対応力向上に向けた取り組み	① 専門的な認知症ケアの習得 ② 内部研修の実施と、外部研修への参加

#### (5) 元気デイ きらら(通所介護事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 経営基盤の強化 (1) 収益安定化の取り組み	① 利用者満足・職員の満足 ・個人にあったサービスメニューを提供 ・職員の介護知識、技術の向上のための研修会の実施 (スタッフミーティング)
2 人材育成 (1) 個人のスキルアップを目指す	① レク、認知症ケアに関する研修等に参加し、知識、技術の習得 ② 研修参加者による伝達講習の実施 他職員にフィードバックし、職員間で共有する
3 サービス向上の取り組み (1) 業務改善の見直し	① 毎月のミーティングの時に改善点がないかを協議し、常に新しいことに挑戦していく

#### (6) ヘルパーステーション 天領ガーデン(訪問介護事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 経営基盤の強化 (1) 収益安定化の取り組み	① 新規依頼を断らずに受付ける ② 居宅、包括への空き情報の発信 ③ 人材増員による収益増の取り組み (研修センター等への働きかけ)
2 人材育成 (1) 人材確保と技術・対応力の向上	① 即戦力となる職員を育成するための技術研修の実施 ② 個別カンファレンスを充実させ、サービスの質の向上を図っていく ③ 喀痰吸引や同行援護、障害、認知症に関する研修への参加

3 サービス向上の取り組み (1) ICT 化による加算算定要件のクリア (特定事業所加算) と業務の効率化	① スマートフォンを活用し、情報収集や共有をスピーディに行い、ケアの継続的観察やフォローを可能にする ② 利用者情報をリアルタイムに全員で共有し、伝達ミスをなくす
---	--

### (7)訪問看護ステーション 天領ガーデン(訪問看護事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 経営基盤の強化 (1) 新規利用者の獲得	① 新規利用者の獲得 (営業) ② 近隣医療機関、各居宅へのPR活動 ③ 訪問リハの提供 ④ 医療保険対象者 (難病疾患) の新規獲得
2 人材育成 (1) 看護サービスに関する個々のスキルアップ	① 疾患に応じた手技のスキルアップ ② 三愛訪問看護ステーションによる指導 ③ 指示書に基づいた適切な対応
3 他職種・他職種間との連携・協働 (1) 看護多機能ホームふじっこの連携	① ふじっこの一体的運営の実施 難病登録者への対応 ② 社会医療法人三愛会との連携強化 ③ 近隣医療機関、各居宅との情報交換

### (8)看護多機能ホーム ふじっこ(看護小規模多機能型居宅介護事業所)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 経営基盤の強化 (1) 収益安定化の取り組み	① 相談内容に関する検討会 (1回/週) を開催し、確実に利用へとつなげていく ② 利用者一人一人に合った個別リハビリを提供する ③ 業務内容・サービス内容の見直しを定期的 (1回/月) に行い、ご利用者に満足して頂けるサービスを提供していく
2 人材育成 (1) 専門性向上のための資格取得に向けた取り組み	① 喀痰吸引に関する資格取得 (介護職員) ② 外部研修 (認知症研修等) へ参加し、技術や知識を習得し業務に生かしていく
3 地域との関係づくり (1) 運営推進会議の内容充実	① 事例等を紹介し、看多機サービスへの理解を深めていただく取り組み ② 防災に関する地域との協力体制の構築 (意見交換)



(9)特別養護老人ホーム 天領ガーデン(地域密着型小規模介護老人福祉施設)

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 介護・生活支援サービスの充実を図る (1) ケアプランに基づいたサービスの充実	① 各ユニット会議でのサービスの質に関する こと、ケアプランに関することについての 意見交換を実施し、PDCA を実行していく
(2) 業務の明確化・役割分担	① 業務の見直しについては、必要に応じて行 い、業務改善を図っていく
(3) 入院者を減らす	① 入所者の異変についての早期発見、早期対応
2 安心・安全な環境づくり・人材育成	
(1) 個人目標に対しての定期的な振り返り	① 年3回(2月、6月、12月)の個人面談の 実施。個人目標の進捗状況の確認
(2) 環境整備のための5S活動の定着	① 感染対策強化のため、整理整頓に取り組む
(3) ノーリフトケアの推進	① ノーリフトケアの概念の定着 ② ツールの活用
3 地域への情報発信と地域貢献の継続	
(1) 地域への行事参加	① 地域行事への参加
(2) 定期的な地域とのコミュニケーション	① 運営推進会議での情報交換(1回/2ヶ月) ② グリーンボランティアとの交流

(10)栄養部

重点目標及び具体的な実施項目	計画 (アクション)
1 栄養マネジメントの充実 (1) 適切な食形態の選択	① 個々に合った適切な食事が提供できるよう、 研修会に参加し、アセスメント・計画作成能 力の向上に取り組む ② ミールラウンドにより利用者様の摂食状況を 常に把握する
(2) 看護・介護・その他職種との連携	① 常に情報交換を心掛け、情報収集を行って いく
2 異物混入や配膳ミスをなくす	
(1) ヒヤリハットの共有(そうだ藤の森・天 領)	① ヒヤリハット報告書の提出・回覧
(2) 調理員の意識改革	① ミーティングでの啓発
(3) 5S活動の実践	① 整理、整頓、清潔、清掃、しつけを徹底して いく
3 医療・介護の連携	
(1) 栄養サマリーの活用・連携会議での意見 交換	① 入退院時に栄養サマリーによる情報交換を実 施し、より適切な食形態の選択を行う

## (11)管理本部・事務部

重点目標及び具体的な実施項目	計画（アクション）
1 法人業務管理体制の強化 (1) 法令遵守に基づいた運営を行う	① 法人の各種規程を理解し、職員へ説明できるようにするための勉強会（ミーティング）を実施する ② 常に法改正、制度改正に関する情報を収集し、法律に則った規定に整備する
(2) 人材確保の取組み	① 新卒者の確保 ② 外国人技能実習生の受入れ
2 収益安定化の取組みの実態	
(1) 未収金を無くすことと、経費削減	① 介護報酬、利用者負担金などの収入を管理するとともに、未収金の把握と回収を必ず行う ② 各事業所での経費の使用状況（金額）を見える化し、経費削減に取り組めるよう啓発する
3 職場環境の整備	
(1) 5 S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を実践し、習慣化する	① 事務室含めた共有スペースの5 Sの取組み計画を作成し、実践、継続を推進する ② 在庫管理を徹底し、各事業所に余分な備品を置かないようにする

#### 4. 法人・特養部 年間行事/会議/研修等計画（案）

月	法人	行事	その他
4月			法人研修（倫理・法令順守について） 安全衛生委員会・安全管理委員会 新人研修
5月	さつき祭 会計監査（監事）	母の日行事	法人研修（感染対策研修/感染対策訓練） 運営推進会議 救急法研修 安全衛生委員会・安全管理委員会
6月	理事会 定時評議員会	父の日行事	福祉サービス相談委員会 法人研修（事故対策研修） 感染症に関する研修 安全衛生委員会・安全管理委員会
7月	天領ガーデンふれあい祭り 事業所フォロー会議	ビアガーデン 七夕	法人研修（身体拘束廃止及び虐待防止研修） 運営推進会議 安全衛生委員会・安全管理委員会
8月	納涼祭	天領ハイツ地区盆踊り お盆行事	法人研修（認知症に関する研修）（災害訓練） 初盆参り 安全衛生委員会・安全管理委員会
9月	理事会	敬老会	法人研修（介護予防に関する研修） 運営推進会議 救急法研修 安全衛生委員会・安全管理委員会
10月	事業所フォロー会議	収穫祭（芋ほり大会）	法人研修（看取り・褥瘡に関する研修） 総合防災訓練 福祉サービス相談委員会 感染症に関する研修 安全衛生委員会・安全管理委員会
11月	人事考課	運動会	法人研修（感染対策研修） 健康診断（夜勤者） 運営推進会議 安全衛生委員会・安全管理委員会
12月		クリスマス会 餅つき	法人研修（事故対策研修） 安全衛生委員会・安全管理委員会
1月	事業所フォロー会議	初詣	法人研修（身体拘束廃止及び虐待防止研修） 運営推進会議 安全衛生委員会・安全管理委員会 身体拘束・虐待防止に関する研修
2月	健康診断	節分 梅見ドライブ	法人研修（接遇研修） 福祉サービス相談委員会 安全衛生委員会・安全管理委員会
3月	理事会 評議員会	ひな祭り	法人研修（災害対策研修）災害訓練 運営推進会議 新入社員研修会 安全衛生委員会・安全管理委員会

※行事等の開催については、コロナ禍の状況により中止する場合があります。

## 5. 在宅部 年間行事/研修等計画（案）

月	行事	研修
4月		認知症・倫理・法令遵守・認知症ケア・認知症ケアマニュアルに関する研修 事故事例、ヒヤリハット事例に関する研修
5月		食中毒に関する研修 利用者のプライバシーの保護に関する研修 非常災害時の避難、救出等に関する訓練及び研修
6月	DVD鑑賞	防災・避難訓練 身体的拘束等の排除に関する研修
7月	料理教室	身体拘束・虐待 入浴介助に関する研修・入浴介助マニュアルに関する研修（通所部門）
8月	夏まつり	リスクマネジメント・事故発生時の対応 事故の発生又はその再発防止に関する研修
9月	料理教室 敬老会	プライバシー、接遇に関する研修 事故発生等緊急時の対応に関する研修
10月	ミニ運動会	日常生活自立支援事業、成年後見制度 非常災害時の対応に関する研修、非常災害時の避難、救出等に関する研修
11月	料理教室	感染症、ノロ対策 感染症及び食中毒の発生事例等に関する研修
12月	クリスマス会 餅つき	防災、避難訓練 通所介護に関する研修
1月	初詣	救急対応手順 排泄介助時の利用者のプライバシーへの配慮に関する研修
2月	梅見ドライブ 節分・バレンタイン	外部評価に関する勉強会 利用者の健康管理に関する研修 送迎に関する研修
3月	ひな祭り	非常災害対応に関する研修 外部評価に関する勉強会 相談、苦情等に関する研修 非常災害時の対応手順、役割分担等に関する研修

※行事等の開催については、コロナ禍の状況により中止する場合があります。

## 6. 施設整備等計画（案）

### （1）設備整備・物品購入実施予定分

部署	品目	金額（単位：円）	備考
そうだ藤の森特養	与薬カート	320,000	老朽化
	計	320,000	
そうだ藤の森 デイサービスセンター	機械浴	4,500,000	老朽化
	循環ろ過器装置	1,650,000	老朽化
	計	6,150,000	
特別養護老人ホーム 天領ガーデン	シャワーキャリー	150,000	老朽化
	計	150,000	
デイサービスセンター ひなたや	車輛	1,650,000	老朽化
	計	1,650,000	
事務部	ほのぼの介護ソフト更新費用	10,000,000	更新費用 訪問介護記録ソフト費用
	予備費	2,000,000	
	計	12,000,000	
計		20,270,000	

### （2）施設改修・修繕実施予定分

#### ① 改修計画の趣旨

特別養護老人ホームそうだ藤の森は、平成10年4月の開所から24年が経過しており、施設建物の老朽化が進み、汚れや傷みが顕著となってきたことから、今後定期的な建物・設備等の劣化診断を行いながら計画的に施設の改修に取り組んでいきます。

#### ② 修繕のための積立金額

45,000千円

#### ③ 施設改修検討箇所と内容

区別	NO	改修箇所・改修内容	具体的内容
施設	1	屋根	防水改修・鋼板屋根塗装
	2	外壁	塗替、クラック補修、足場・養生等仮設
デイサービス	3	脱衣室拡張	・畳スペース撤去による脱衣室の拡張
	4	畳スペースの段差解消しフロアの拡張	・トイレスペースの拡張 ・洗面台既存利用移設
	5	脱衣室トイレ幅を拡げ、両側介助可能に変更	・食堂側へ出入口新設 ・畳スペースの撤去
	6	浴室手前のロッカーの移設	・食堂側と同じ床レベルに改修 ・ロッカーとPS
	7	脱衣室内洗面台撤去、デイフロアへの出入口新設	は既存のまま ・押入新設 ・洗面台追加 ・可動式畳台新設
	8	個浴脱衣室と一般脱衣室の一体化	・汚物流し撤去 ・個浴脱衣室間仕切り壁撤去
	9	個浴脱衣室床と個室床の段差解消	・カーテン仕切り新設
	10	浴室リフォーム	・浴槽ひび割れ補修 ・窓カバー工法
	11	個室汚物流し台の移設	・樹脂製グレーチングへ取替
	12	スタッフルーム一部静養室に変更	

#### ④ 改修費用概算

45,000千円